

中四国交流プログラム 参加報告書

2025年12月7日

広島県 フットサル2級審判員 和田亮嗣

大会名：JFA 第31回全日本フットサル選手権大会 四国大会

期 日：2025年12月6日、7日

会 場：あなぶきアリーナ香川 サブアリーナ(香川県高松市)

【参加者】

インストラクター

古田 武志氏(徳島県)、酒井 寿宏氏(高知県)、東野 泰隆氏(愛媛県)、小林 泉紀氏(鳥取県)

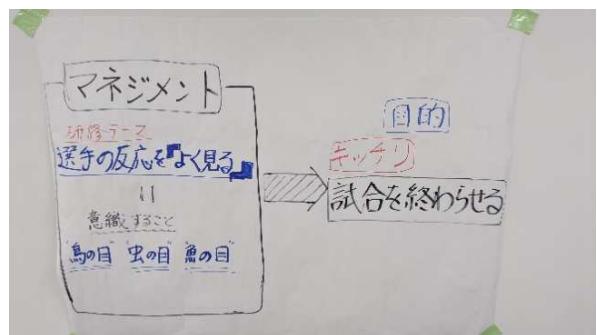
審判員

伊藤 彰彦氏(徳島県)、近藤 優氏(徳島県)、林 恭平氏(徳島県)、平島 一起氏(徳島県)、

富田 浩史氏(愛媛県)、網矢 守氏(愛媛県)、藤沢 誠氏(愛媛県)、中矢 敬吾氏(愛媛県)、

伊藤 俊一氏(愛媛県)、泉 一樹氏(香川県)、西本 周平氏(香川県)、中筋 望(香川県)、

田辺 雄氏(高知県)、和田 亮嗣(広島県)



第一試合

マッチ No.1 10:30 キックオフ

徳島大学フットサル部 VS Lucha Futsal Club KAGAWA

4 : 4 (1 : 0)(3 : 4) PK 戦 5 : 4

主 審：和田 亮嗣 第 2 審判：伊藤 俊一

第 3 審判：中矢 敬吾 タイムキーパー：西本 周平

インストラクター：古田 武志氏 酒井 寿宏氏

【良い点】

- レフェリーチームで判定の協力ができていた。
- ペナルティーシュートアウトでゴールキーパーによる反則を正しく判定出来ていた。
- シグナルが綺麗で分かりやすい。意識しているのが伝わる。

【改善点】

- 1 ピリオドと 2 ピリオドでファウル基準が異なっていた。
初めから 2 ピリオドの強度で、できていれば良かった。
- タンカが必要となった場面で、試合再開のタイミングを考える。
- ペナルティーシュートアウト開始までの段取りが悪い。
ペナルティーシュートアウトのポジショニングが間違っている。
打合せ等で事前に役割分担を行っておく。

第二試合

マッチ No.3 14:35 キックオフ

YUIFA EHIME VS Leagross Futsal club

6 : 1 (3 : 0)(3 : 1)

主 審：近藤 優 第 2 審判：林 恭平

第 3 審判：和田 亮嗣 タイムキーパー：田鍋 雄

インストラクター：酒井 寿宏氏 古田 武志氏

【良い点】

- レフェリーチームで協力して判定、ポジショニングができていた。

【改善点】

- ゴール取り消しをベンチに説明するシーンで役割分担が出来ていなかった。

第三試合

マッチ No.6 9:15 キックオフ

ミラクルスマイル新居浜 VS CONCORDE

3 : 2 (1 : 0)(2 : 2)

主 審：林 恒平 第 2 審判：和田 亮嗣

第 3 審判：泉 一樹 タイムキーパー：田鍋 雄

インストラクター：酒井 寿宏氏

【良い点】

- 試合全体を通して判定基準は貫徹できていた。

【改善点】

- 視野が狭い傾向にあるため改善する。
- 選手がモップを要求している時に、気づけていない事があった。
全体を見られるように改善する。

《全体を通して》

中国・四国地域のフットサル審判員交流プログラムの一環として、「JFA 第31回全日本フットサル選手権大会 四国大会」に参加させていただきました。

主審1回、第2審判1回、第3審判1回の計3試合を担当させていただきました。

主審としては大会の第1試合を、第2審判としてはFリーグチームとの対戦という重要な試合を割り当てていただき、大変貴重な経験となりました。

本大会で得た経験を地域の仲間に還元できるよう、今後の活動に活かしてまいります。

引き続きご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

《インストラクター所感》

中四国交流が3年目となり年々クオリティが上がっていることを実感しています。

四国では20代前半の審判員が頭角を現しており、非常に将来が楽しみでした。中国地域においても大学生を中心により審判活動に興味を持っていただけるような取り組みを行っていくかなければならないと強く感じました。このように双方に刺激し合える環境を大切にし、引き続き中国地域レフェリーの質、量を高められるよう邁進していきたいと思います。この度派遣いただきました中国サッカー協会審判委員会の皆様本当にありがとうございました。

小林泉紀